



Keep the Lifeline.

ライフラインを、支える。

# 2024年3月期決算説明会資料



株式会社協和日成

2024年6月13日（木）

1.	2023年度（2024年3月期）決算について	.....	2
2.	中期経営計画「STEP 2024」の進捗について	.....	8
3.	2024年度（2025年3月期）業績見通し	.....	20
4.	ご参考資料	.....	25

# 1. 2023年度（2024年3月期） 決算について

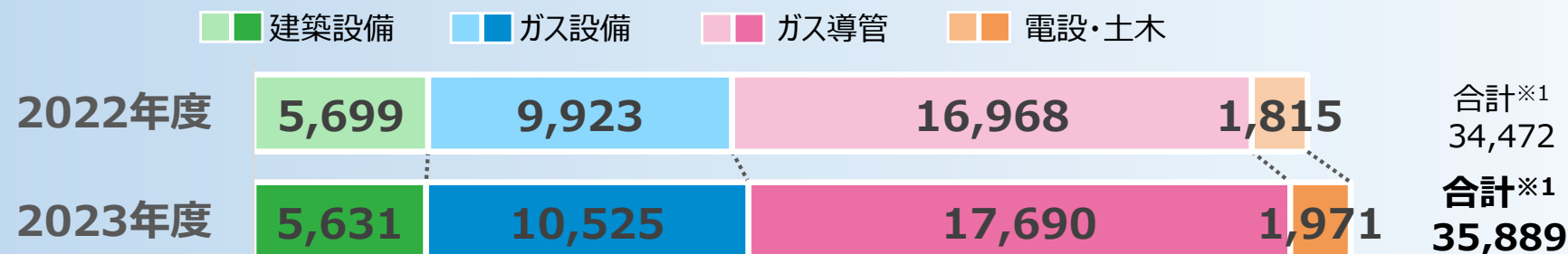
*Keep the Lifeline.*

# 損益計算書（要約）

- 売上高は前期比4.1%増加し、ガス導管事業と電設・土木事業において利益率の高い物件の完成が多かったこと等により前期比増益となった

(百万円)	2023年度 実績	2022年度	2022年度比		2023年度 予想	予想比	
			(金額)	(%)		(金額)	(%)
売上高	35,889	34,472	+1,417	+4.1%	35,470	+419	+1.2%
営業利益	1,247	1,141	+105	+9.3%	1,120	+127	+11.3%
経常利益	1,461	1,338	+123	+9.2%	1,270	+191	+15.0%
当期純利益	1,062	933	+128	+13.8%	910	+152	+16.7%
【参考】 期初手持工事高	17,567	17,006	+561	+3.3%	-	-	-

## 【セグメント別売上高】 (百万円)



※1) 合計金額には外部顧客に対する工材販売手数料等の金額（2022年度64百万円、2023年度70百万円）を含めております

# 決算のポイント

## 売上高の増減

## 前期比+1,417百万円

### 建築設備事業

#### 前期比▲68百万円

- 集合住宅の給湯・暖房工事の受注堅調も、建築工事遅延により当事業年度における完成が減少
- GHP※<sup>1</sup>工事において大規模物件が減少

### ガス設備事業

#### 前期比+602百万円

- 木造集合住宅や首都圏周辺エリアでの大規模物件の受注が増加
- 施工管理体制を強化したLCS※<sup>2</sup>工事が好調に推移

### ガス導管事業

#### 前期比+722百万円

- 主要取引先における設備投資計画に基づく工事の受注が好調に推移
- 部門間連携を密にし、機動的な施工管理体制を強化したことなどが奏功

### 電設・土木事業

#### 前期比+156百万円

- 東京都水道局関連工事、大規模物件を多く受注したイリゲーション工事※<sup>3</sup>が好調に推移
- 東京電力パワーグリッド(株)の管路埋設工事の受注堅調も、多くは来期以降完成予定

※1) ガスヒートポンプエアコン

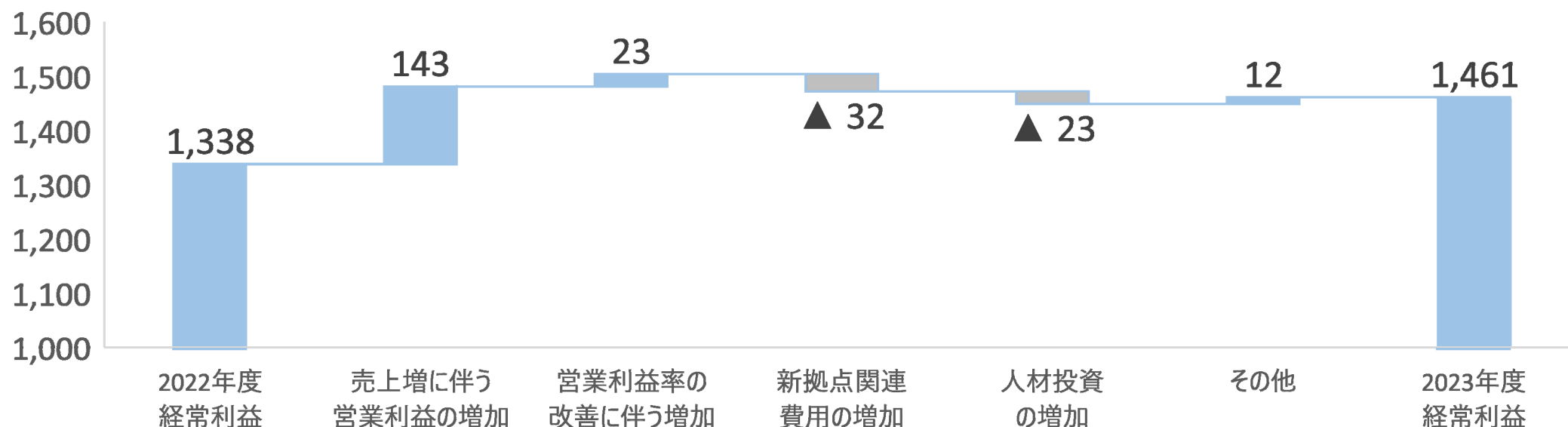
※2) 戸建住宅における給排水設備

※3) ゴルフ場の緑化散水設備およびクラブハウス等の設備工事

# 決算のポイント

## 経常利益の増減

前期比+123百万円



### 【主なポイント】

- 売上高の増加に伴い営業利益が増加
- 委託業務費等の増加はあったものの、工事原価全体の増加幅が抑制されたことで営業利益率が若干改善
- 日野事業場建設に伴い事務用品等の販管費が増加。エンゲージメントサーベイの実施や研修制度の充実により、人材投資が増加。

# 貸借対照表（要約）

(百万円)	2022年度末	2023年度末	前期比
<b>資産の部</b>			
流動資産	16,945	18,197	1,251
固定資産	9,444	10,448	1,004
有形固定資産	5,787	6,237	449
無形固定資産	63	234	170
投資その他の資産	3,592	3,977	384
資産合計	26,390	28,645	2,255
<b>負債の部</b>			
流動負債	8,278	9,395	1,116
固定負債	471	453	▲18
負債合計	8,750	9,848	1,098
<b>資産の部</b>			
株主資本	17,213	17,930	717
評価・換算差額等	426	867	440
純資産合計	17,639	18,797	1,157
負債純資産合計	26,390	28,645	2,255

## 【主なポイント】

- 流動資産
  - 現金及び預金 +299百万円
  - 電子記録債権 +398百万円
  - 未成工事支出金 +410百万円
- 固定資産
  - 有形固定資産 +449百万円
  - 無形固定資産 +170百万円
  - 投資その他の資産 +384百万円
- 流動負債
  - 工事未払金 +297百万円
  - 未払費用 +162百万円
  - 未払法人税等 +197百万円
  - 未成工事受入金 +301百万円
  - 賞与引当金 +142百万円
- 固定負債
  - 退職給付引当金 ▲53百万円
- 純資産
  - 利益剰余金 ▲345百万円
  - その他有価証券評価差額金 +440百万円

# キャッシュ・フローの状況

(百万円)	2022年度	2023年度	前期比
期首現金および現金同等物の残高	8,060	7,626	▲434
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,107	1,371	+264
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲575	▲713	▲138
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲966	▲359	+607
期末現金および現金同等物の残高	7,626	7,925	+299

## 【2023年度キャッシュ・フローの主な内訳】

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益	+1,522百万円
減価償却費	+203百万円
賞与引当金の増減額（▲は減少）	+142百万円
売上債権の増減額（▲は増加）	▲475百万円
未成工事支出金の増減額（▲は増加）	▲410百万円
未成工事受入金の増減額（▲は減少）	+301百万円
仕入債務の増減額（▲は減少）	+289百万円
受取利息及び受取配当金	▲98百万円

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	▲718百万円
投資有価証券の取得による支出	▲609百万円
投資有価証券の売却による収入	+740百万円
無形固定資産の取得による支出	▲189百万円

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	▲344百万円
---------	---------



## 2. 中期経営計画 「STEP 2024」の進捗について <2022年度～2024年度>

*Keep the Lifeline.*

## 「STEP 2024」 (Sustainable Evolution Plan)

### サステナビリティ基本方針

協和日成グループは、お客様に安心と心地よさを提供し、豊かな未来のためにライフラインを支えるという事業活動を通じて、社会的存在価値及び企業価値の増大を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 5つの重要施策

事業戦略

株主還元の  
強化

CSRの  
推進

筋肉質な  
企業体質作り

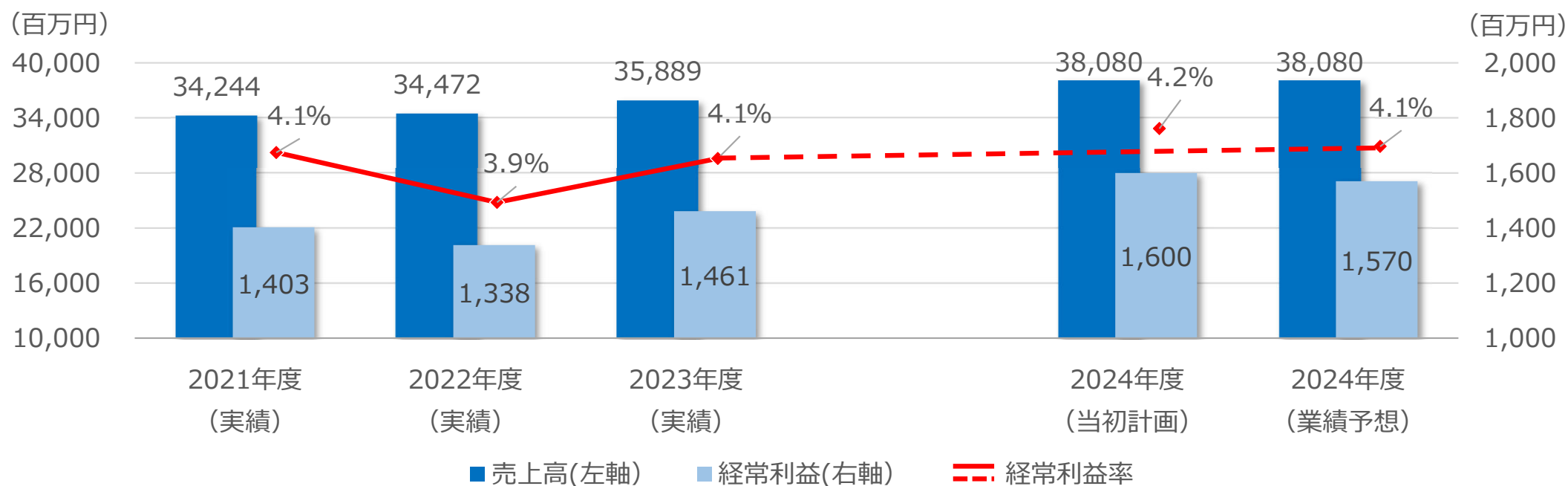
経営基盤  
強化

# 売上・利益計画

## (i) 全社

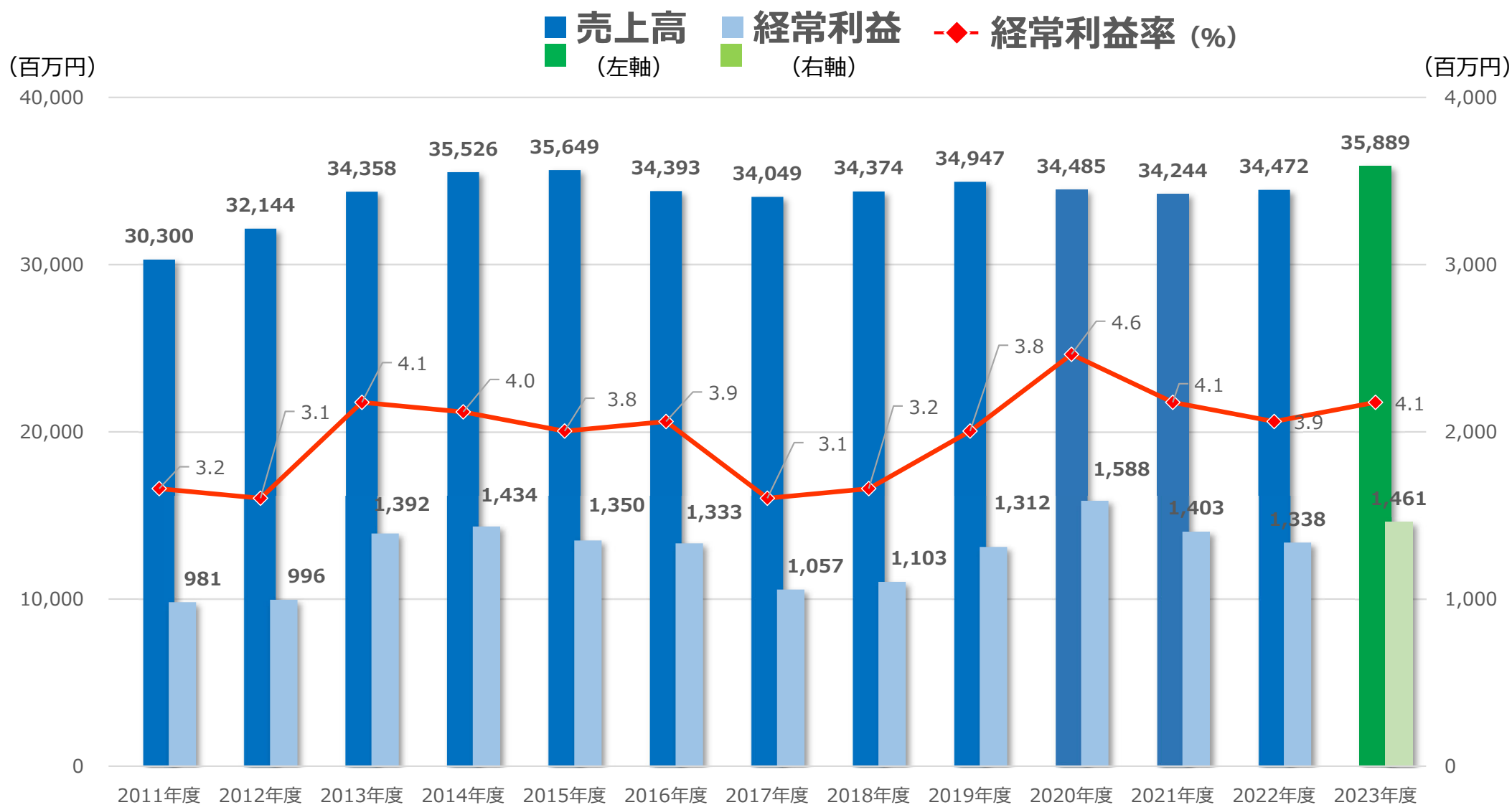
### 目標とする経営指標

企業の総合的な収益力を示す指標として、売上高経常利益率を採用。  
中計最終年度**4.0%**の達成を目指す。



- 2024年度も主要工種が堅調に推移する見込みのため、売上高は中計当初計画通りを見込む
- 一方、資機材高騰やベースアップの実施により、中計当初計画より経常利益予想は若干低下するものの、経常利益率4.0%の達成を目指す

# 当社のあゆみ ～業績推移～



# 売上・利益計画

## (ii)セグメント別売上計画（単位：百万円、カッコ内は売上構成比）

	2021年度 (実績)	中計2024年度 (当初計画)	中計2024年度 (23年6月修正)	2024年度 (業績予想)
売上高	34,244	38,080	38,080	38,080
建築設備事業 <sup>※1</sup>	6,027 (17.6%)	8,755 (23.0%)	8,355 修正額を他事業でカバー	8,240 (21.6%)
ガス設備事業	8,799 (25.7%)	9,965 (26.2%)	—	9,870 (25.9%)
ガス導管事業	17,557 (51.3%)	17,300 (45.4%)	—	17,910 (47.0%)
電設・土木事業	1,797 (5.2%)	2,000 (5.3%)	—	2,000 (5.3%)
その他 <sup>※2</sup>	60 (0.2%)	60 (0.2%)	—	60 (0.2%)
経常利益	1,403	1,600	1,600	1,570

※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております。  
また、財務報告上は「ガス設備事業」に区分している戸建住宅の給排水設備工事および電気工事を含んでおります。

※2) 工材販売手数料等の表示区分調整額

# 1.事業戦略

## 事業戦略の基本方針

持続的に発展、成長するために、既存の事業領域に加えて、「建築設備事業」を中核事業の一つに育てあげる。特に新築設備工事分野に経営資源を重点投入する。

### <建築設備事業の内容>

#### 新築

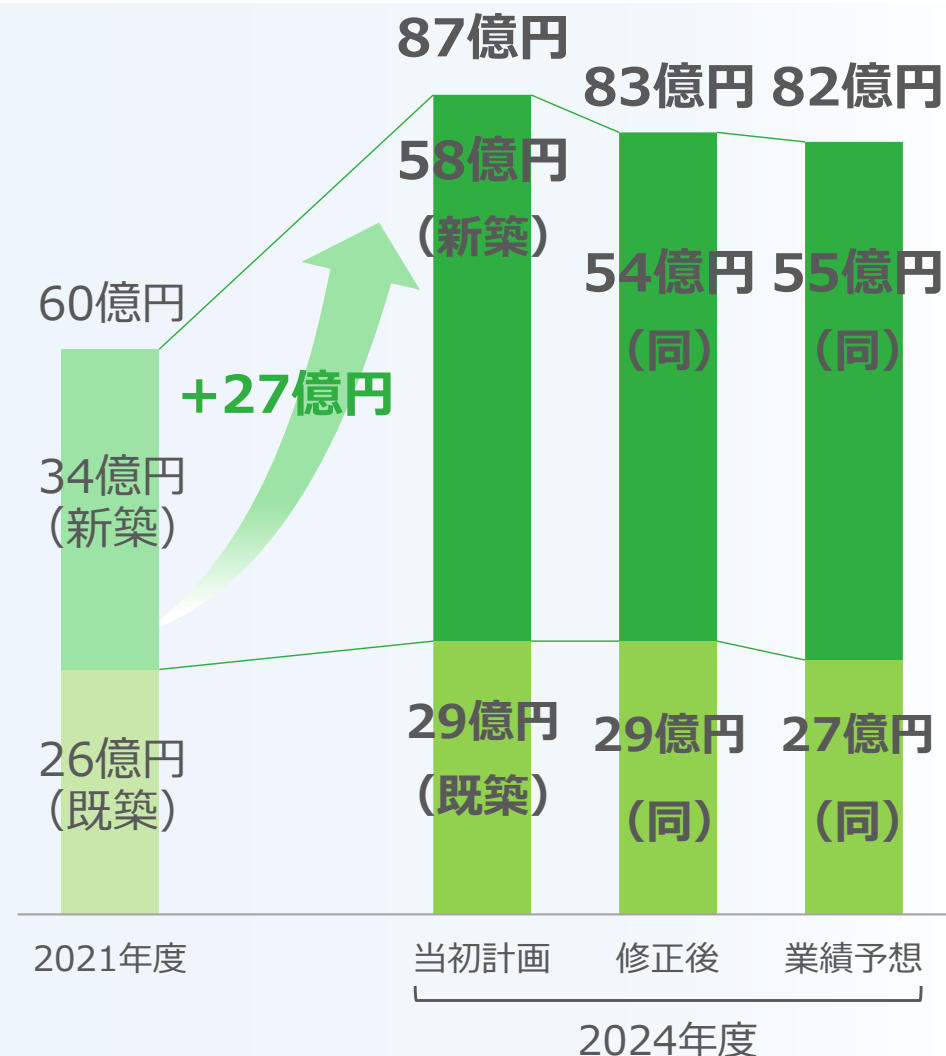
- 新築マンション・施設系建物の給排水衛生設備・空調設備工事等
- 新築マンションの給湯・暖房工事
- 新築戸建住宅の給排水設備・電気工事

#### 既築

- リノベーション工事（排水管更生工事を含む改修工事）
- 工場施設関連の営繕工事
- GHP工事

※1) 2022年度より、従来「ガス設備事業」に含めていた一部工種を「建築設備事業」の区分に含めることに変更しております。また、財務報告上は「ガス設備事業」に区分している戸建住宅の給排水設備工事および電気工事を含んでおります。

### 建築設備事業※1の売上計画



# 1.事業戦略

## ( i )建築設備事業成長に向けた取り組みの進捗状況

### 取り組み施策の概要

#### 一括受注体制に向けた施工体制の整備

- 施工管理者の育成
- 建物の構造別にチーム体制を整え、一人当たりの生産性を向上
- 建築設備工事に従事する施工管理者の増強

#### 以下工事の同時受注をより多く獲得

①ガス工事

②給排水衛生設備工事

③給湯暖房工事

④空調工事

⑤電気工事

### 進捗状況

分野	項目	進捗状況	評価
集合 (給排水衛生設備)	営業体制の強化	● 民間は目標を大幅達成も、官公庁物件が伸び悩み、新設分野の合算目標は未達。リノベーションなど既築分野で新設のマイナスをカバー	○
	施工体制の強化	● 効率的な施工実現のためチーム制は導入も、中途採用進まず施工管理者の増強には課題	△
戸建 (給排水設備)	神奈川エリアでの拡大	● 給排水設備/電気工事の施工体制構築で新規協力会社4社増 ● 給排水+TES+電気の同時受注新規取引先を3社獲得	○
戸建 (電気工事)	電気工事の受注・ 施工体制強化		

# 1.事業戦略

## (ii) 建築設備事業以外の事業分野の取組と進捗

### ガス設備事業

- 1 首都圏エリアの営業体制強化、施工力維持・拡大による売上拡大

- 東京ガスを含む首都圏エリアでは目標達成。



### ガス導管事業

- 1 将来の事業環境の変化を見据え、監督・施工班の多機能化を推進する
- 2 監督・施工体制の強化により本管・内管・水道工事の受注量の確保と利益の増加を図る

- ガス導管事業の施工班による東京電力関連施工を実施も、受注額においては目標未達
- 首都圏エリアと札幌・静岡エリアの相互応援体制の成果および中圧工事、新規受注先からの継続受注により、売上・利益の目標達成



### 電設・土木事業

- 1 激甚化する自然災害によりニーズが高まる電力・水道のインフラ整備や、ゴルフ場設備の自動化・省力化等のニーズに対し、多機能化や業務分散、デジタル技術の活用による工事品質の向上を図る

- 属人化解消と顧客対応力向上のためのスキルアップ講習を実施、情報共有と業務量に合わせた傾斜配置による業務量の平準化、水道関連業務の補助業務の管理者から業務チームへの委嘱は計画に比べ遅れ
- ウェアラブルカメラを若手や遠隔サポートに活用できたが、施工管理者の業務重複時などにおける遠隔臨場への活用拡大には課題

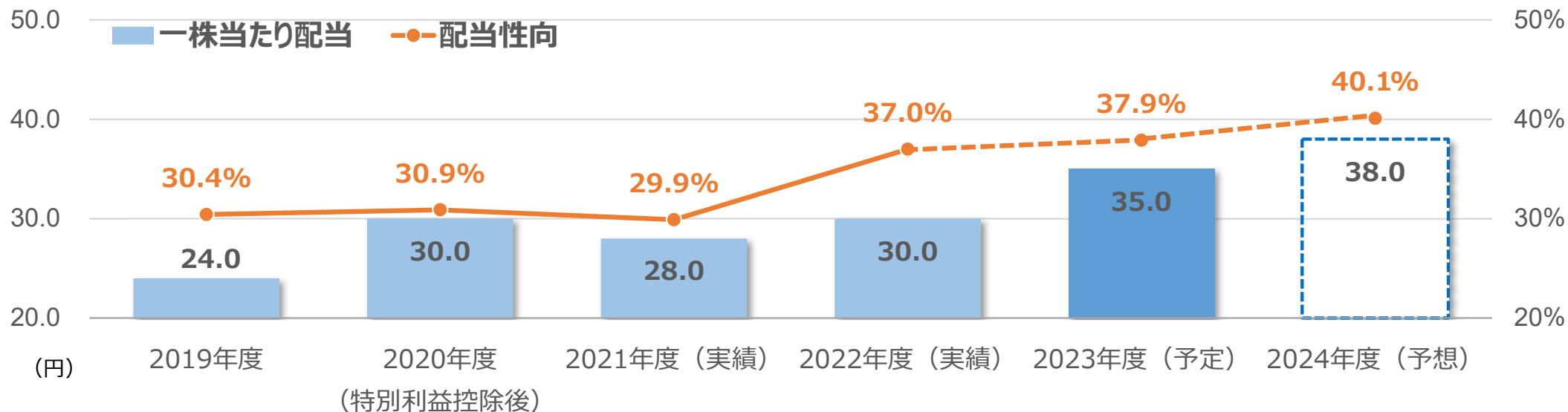




## 2.株主還元強化

### 配当方針（2022年5月公表）

- 経営基盤の強化に留意しつつ、当期の業績ならびに経営環境や今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案し、長期的かつ安定的な配当を維持・向上することを基本とする
- 業績に応じた配当を検討する上で、2024年度に配当性向40%を達成することを目標に、30%からの引き上げを図る
- 非日常的な特殊要因により当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがある



# 3.CSRの推進

E

**取り組み内容**

- a. 環境商材の拡販
- b. ガソリン車、ディーゼル車以外の車両導入検討、車両のCO2排出量、電気使用量を分析

**目標**

- a. 2025/3月期 環境商材※<sup>1</sup>500台/年を目指す
- b. 2025/3月期 CO2排出量10%削減（2022/3比）  
2022/3 CO2排出量実績約174万kg  
2023/3 CO2排出量実績約171万kg

**2023年度進捗**

- a. 環境商材※<sup>1</sup>700台の販売を達成
- b. 車両CO2排出量、電気使用量分析を実施。またハイブリッド車の導入を実施

S

**取り組み内容**

- a. 多様な働き方の実現（働きがいのある職場環境）
- b. CSR調達制度の導入（2022年4月）

**目標**

- a. 男性主体業務への女性配員数の拡大（2021/3比40%増）を折り込んだ行動計画の策定、育児休業法改正に伴う制度整備
- b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート等による現状把握と改善指導を実施し、グループとして社会的責任を果たす体制を作り上げる

**2023年度進捗**

- a. 男性主体業務への女性配員数を拡大（2021/3比83.3%増、183.3%進捗）、エンゲージメントサーベイを実施
- b. CSR調達方針・ガイドラインの調達先との共有、アンケート、個別ヒアリングを実施

G

**取り組み内容**

- a. コーポレートガバナンス・コード（CGC）への対応
- b. コンプライアンスの推進

**目標**

- a. エクスプレイン項目（役員評価、評価に基づく報酬制度、選解任基準の策定、任意の指名・報酬委員会の設置ほか）、次期改訂CGCへの対応
- b. 年1度実施している全社的統制評価アンケートにおけるコンプライアンス関連の各指標5%改善

**2023年度進捗**

- a. 役員の評価制度と、評価に基づく報酬制度導入に向けた検討
- b. 各指標5%改善を早期達成

※1) エネファーム、ハイブリット給湯器、太陽光発電、蓄電池

# 4.筋肉質な企業体質作り

	取り組み内容	2023年度進捗	
全社	<b>業務改革の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 現場監督（施工）・営業・事務関連等、既存業務の内容・量を見える化し、ワークフローの見直しやデジタル技術の導入等で業務の効率化を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● GHPメンテナンス部品の在庫管理システムなどを導入</li> <li>● 施工管理支援や請負通帳・発注業務は新基幹システムと連動検討のため未完成</li> </ul>	△
	<b>リモートワーク環境の構築強化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ等、システム・インフラの強化、およびルールの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモートワーク実施のためのインフラ強化、全社員への情報セキュリティ教育の強化</li> </ul>	○
	<b>基幹システムの刷新</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務処理効率向上</li> <li>● 法改正への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2025/4導入に向け、開発の要件定義、システム設計を完了</li> </ul>	○
部門固有	<b>ガス導管事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本部内にCADセンターを設置し、内製化を図り委託業務費を削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中計最終年度委託業務費の削減に向け、CADセンター人員を育成</li> </ul>	○
	<b>ガス導管事業/電設・土木事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ウェアラブルカメラを用いて、業務効率化の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ガス導管事業／遠隔現場巡回の実施拡大</li> <li>● 電設土木事業／若手や高難度現場における遠隔サポート等に活用、施工管理者の遠隔臨場への活用拡大は計画未達</li> </ul>	○

# 5.経営基盤強化 取り組みトピックス

	取り組み内容	2023年度トピックス
<b>戦略的M&amp;Aの実施</b>	① M&Aを視野に入れた 施工体制の検討	① 戸建給排水設備、電気工事拡大のため、 協力会社4社と新規取引（前年度と合 算し10社増）
<b>従業員の心と 身体への健康づく り</b>	① 従業員の「心と身体への健康づくり 計画」の実施	① 「金の認定 <sup>※1</sup> 」の継続取得(P37を参照)
<b>東証市場構造 改革を踏まえた 取り組み</b>	① 流通株式比率向上へ向けた施 策の検討  ② 継続的なIR活動	① 従業員に対する株式給付信託（J- ESOP）を導入、流動性向上を図る目的 で立会外分売を実施  ② 機関投資家、個人投資家向け説明会の 継続開催。投資家向け雑誌への広告記 事掲載などを実施

※1) 健康優良企業認定制度のステップ2。

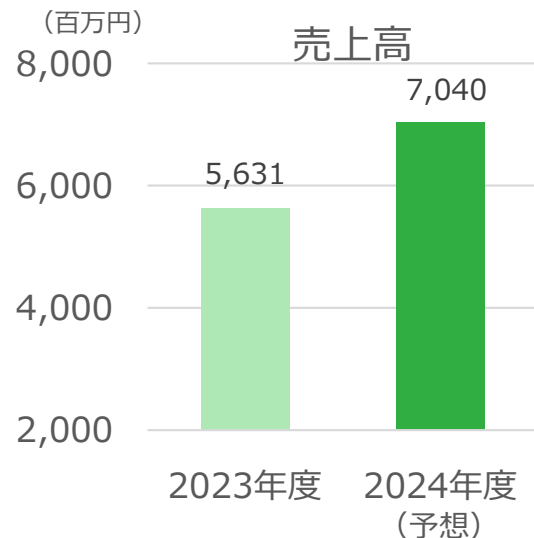
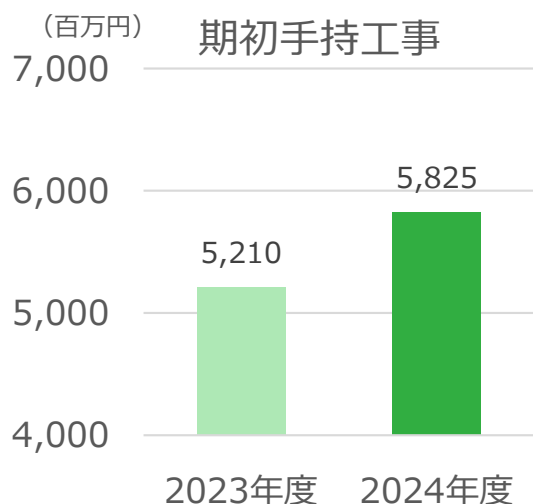
東京都において「健康企業宣言」を行った3790社のうち、STEP1「銀の認定」を経て、STEP2「金の認定」を取得した企業は133社と3.5%（2024年5月現在健保連東京連合会HPより）

# 3. 2024年度（2025年3月期） 業績見通し

*Keep the Lifeline.*

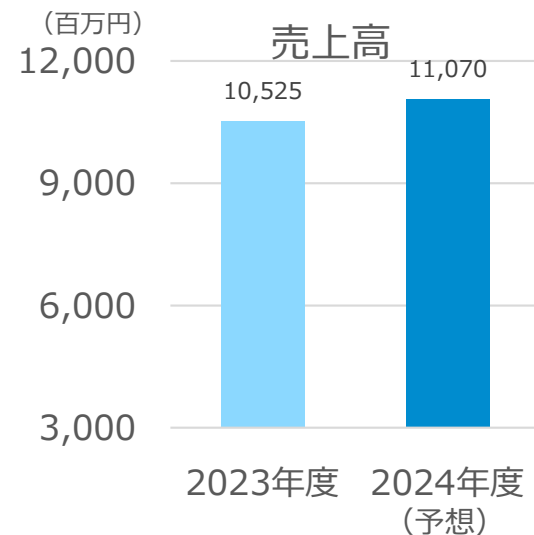
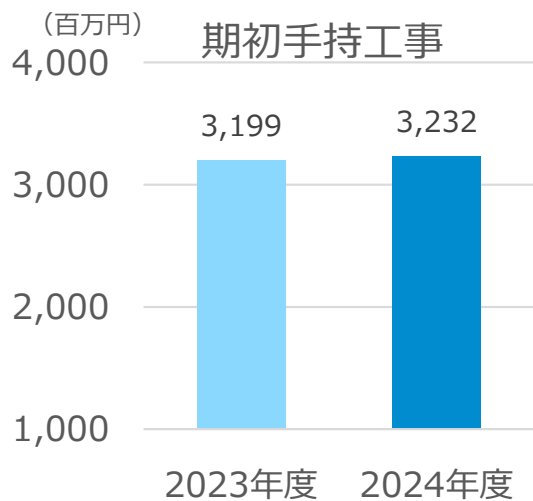
# 事業環境の見通し

## 【建築設備事業】



- 集合住宅等の給排水衛生設備工事、給湯・暖房工事で受注が引き続き堅調
- 給湯・暖房工事では前期から繰り越した物件の完成も見込む
- リノベーション工事（排水管ライニング工事を含む改修工事）、GHPメンテナンス事業の売上拡大にも注力

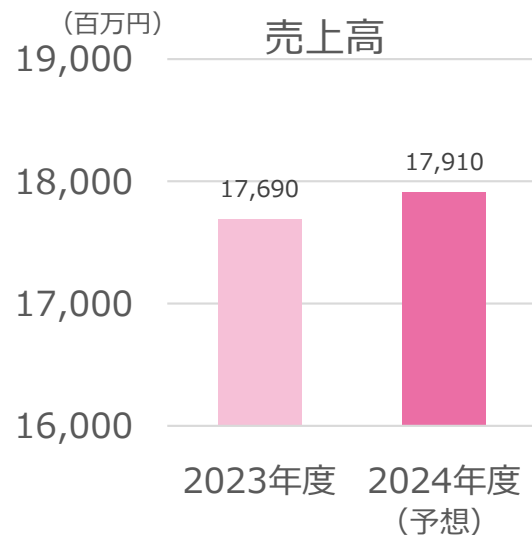
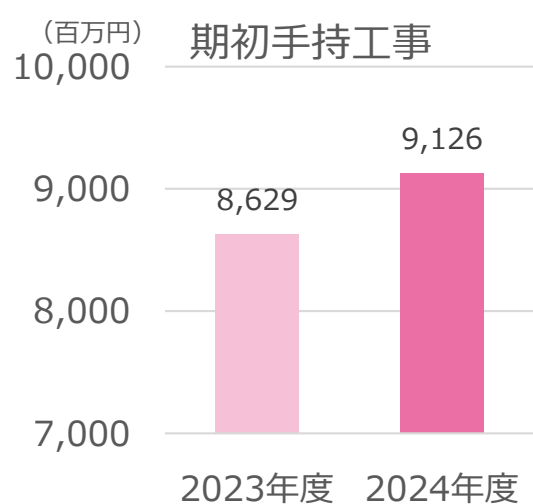
## 【ガス設備事業】



- 戸建住宅の着工減予想に対し、新規顧客獲得および首都圏周辺のガス事業者からの受注の拡大を目指す
- 札幌エリアにおける大規模なガス設備工事の需要には、首都圏から応援体制を構築して対応
- LCS工事や戸建住宅における電気工事も受注拡大を見込む

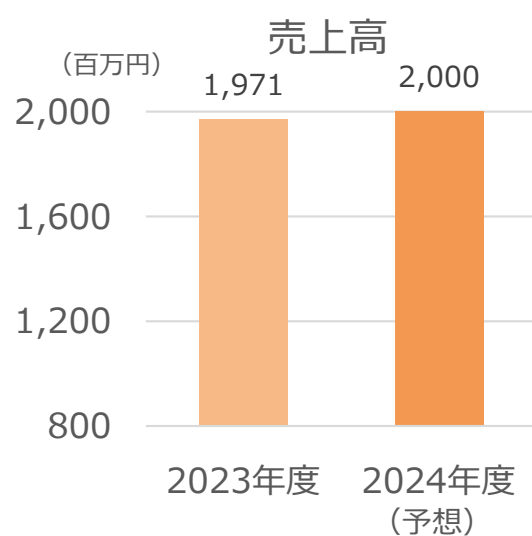
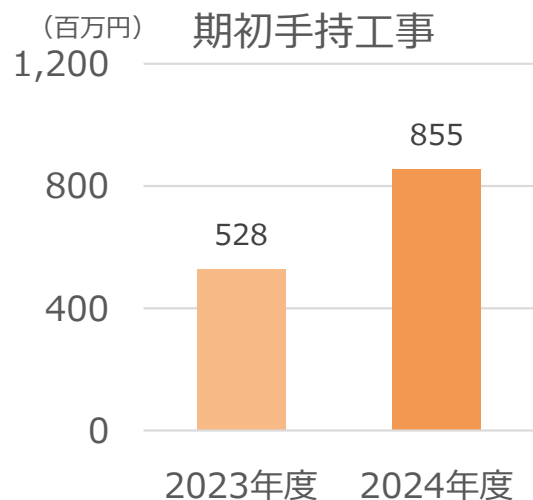
# 事業環境の見通し

## 【ガス導管事業】



- 防災・減災、国土強靱化に伴うインフラ整備需要が引き続き堅調
- 北海道ガス(株)をはじめとするガス事業者の設備投資計画も引き続き堅調。

## 【電設・土木事業】



- 東京電力パワーグリッド(株)の設備投資計画に伴う管路埋設工事について、繰越物件の完成を見込む
- イリゲーション工事は、散水設備改修等を計画するゴルフ場も多く、受注は堅調

# 損益の見通しおよび配当予想

(百万円)	2023年度	2024年度 予想	前期比	
			(金額)	(%)
売上高	35,889	38,080	+2,191	+6.1%
営業利益	1,247	1,350	+103	+8.3%
経常利益	1,461	1,570	+109	+7.5%
当期純利益	1,062	1,090	+28	+2.6%
一株当たり配当金 (配当性向)	35円 (37.9%)	38円 (40.1%)	+3 (+2.2pt)	+8.6%
【参考】 期初手持工事高	17,567	19,040	+1,473	+8.4%

- ごく一部の工種において、若干、労務単価、資材価格高騰の影響を見込むが、主要工種が堅調に推移する見込みのため、前期比増益を計画



# 2024年度 主な施策

## 事業戦略



## CSRの推進

## 筋肉質な 企業体質づくり

### 建築設備事業 業績拡大に向けた体制整備継続

- 新築給排水衛生設備工事における営業体制強化による新規顧客開拓と、施工体制強化による複数工種対応強化
- 既築分野における設備・空調改修物件の積極受注

### ガス設備事業 戸建住宅における給排水設備工事・電気工事の強化

- 神奈川エリアの戸建給排水設備工事の施工体制強化
- 電気工事の施工体制強化と複数工種同時受注している得意先をターゲットとした売上拡大

### ガス導管事業/電設・土木事業 旺盛な工事量に対応するための施工管理体制強化

- ガス導管監督とガス導管施工班の多機能化を推進継続
- 静岡エリア・札幌エリアにおける新規受注先からの受注強化
- 札幌エリアにおけるガス設備工事施工体制の増強
- CADオペレーターの育成およびウェアラブルカメラによる監査推進による業務効率化
- 電設・土木事業における土木特化型講習による自立自走監督者の増員

### 環境対応

- 環境商材の拡販（24年度の当初目標500台は既に達成、750台へ目標修正）
- ハイブリッド車の導入推進

### 基幹システムの刷新

- 全社業務フローの見直しと導入教育を含めた新基幹システムへの移行準備を24年度に完了
- 同システムは25年度より導入を見込んでおり、導入による業務効率化や生産性向上策について検討を開始

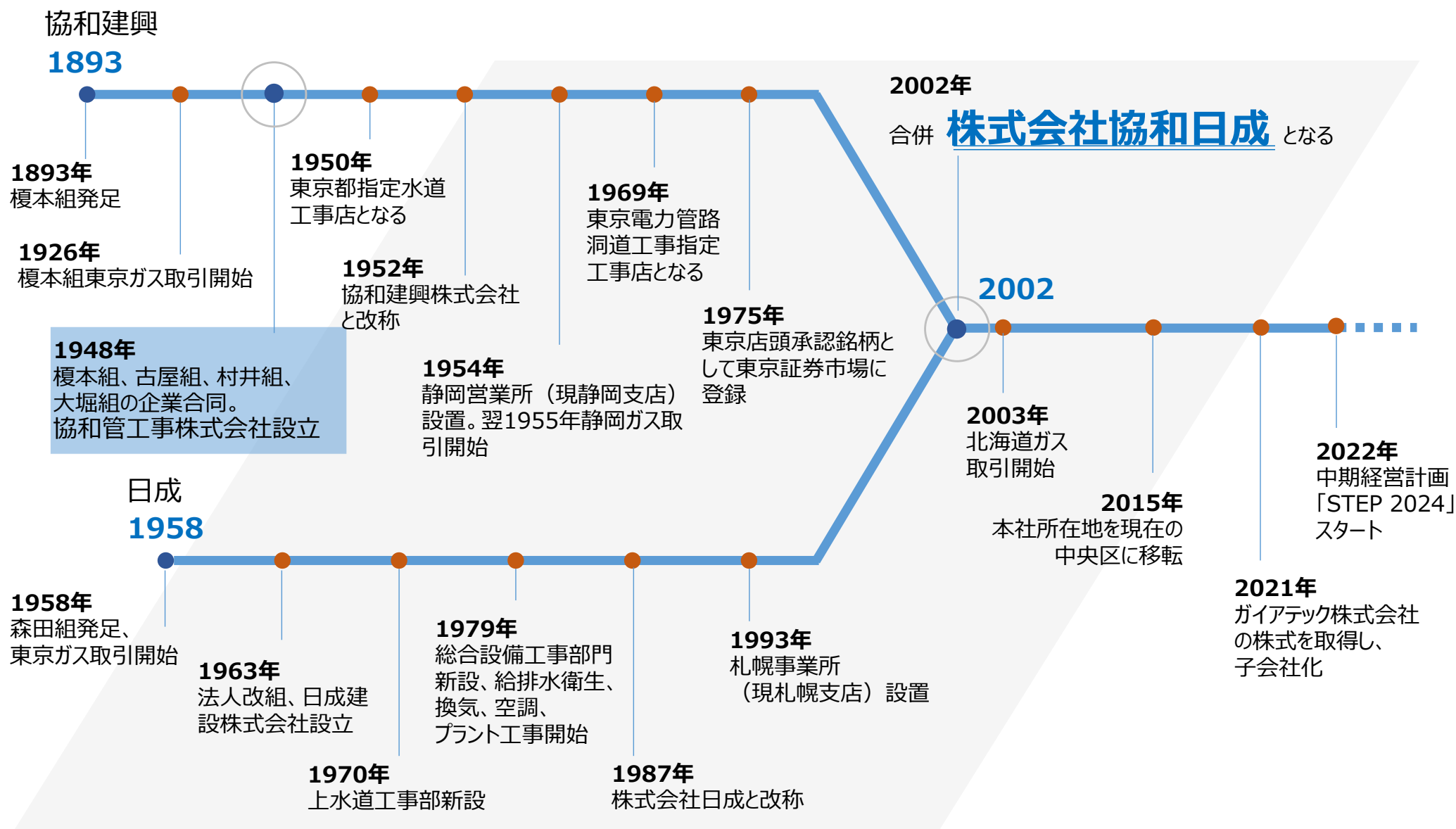
# 4. ご参考資料

*Keep the Lifeline.*

# 会社概要

商号	株式会社協和日成
設立	1948年（昭和23年）9月15日
所在地	〒104-0042 東京都中央区入船3-8-5
資本金	5億9千万円
株式	東京証券取引所スタンダード市場〈コード:1981〉
代表者	代表取締役社長 川野 茂
従業員数	774名（2024年3月31日現在）
売上高	358億円（2023年度）
グループ会社	3社（2024年3月31日現在）

# 当社のあゆみ



# 企業スローガン/企業理念/企業ビジョン

## 企業スローガン

私たちは常に進化する強い意志を持ち、  
心一つにして一流に向かい羽ばたき続けます。

## 企業理念

### 存在意義

豊かな暮らしのために

### 経営姿勢

お客様から選ばれ  
続けるために

### 行動規範

羽ばたき続けるために

## 企業ビジョン

たゆまぬ研鑽を行い、優れた人間力と高い現場力でサービスを  
提供する**真の総合設備工事会社**を目指します。

# クオリティマネジメント

「ライフラインを支える」という使命のもと、品質、安全、環境、コンプライアンスを守ることを何よりも優先し、お客さまの信頼を築いていきたいと考えています。

## 品質管理

お客さまの満足が、私たちの喜びです。

## 安心・安全

安全第一主義で安心をお届けします。

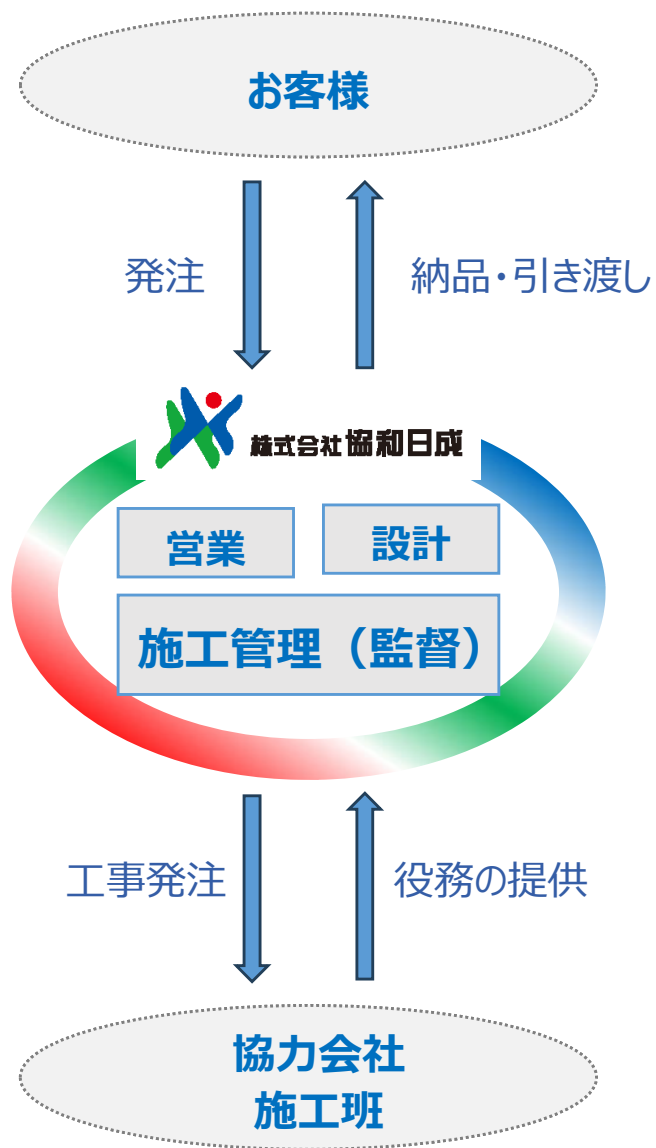
## 環境への取組み

人に地球に、もっと優しく。

## コンプライアンス

誠実で、風通しのよい企業に。

# 事業概要 ～協和日成の主な業務



## 施工管理（監督）

工事のマネジメントを担当する技術者。管工事施工管理技士など。





# 事業内容 ① 建築設備事業について

## 建築設備事業

主な施工場所

集合住宅

工場

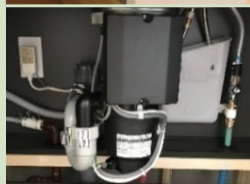
学校・福祉施設

商業施設

### <集合住宅における施工範囲>

- 給水... ●—●
- 給湯... ▲—▲
- 床暖... ○—○
- 排水... ●—●
- 換気... ◆—◆
- 空調... —
- 消火... —
- ガス... —
- (当社ガス設備事業が施工)

キッチン



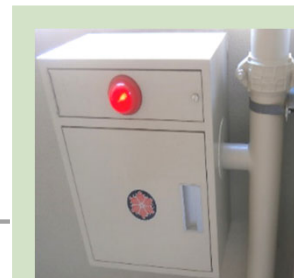
シンク下



風呂・洗面所



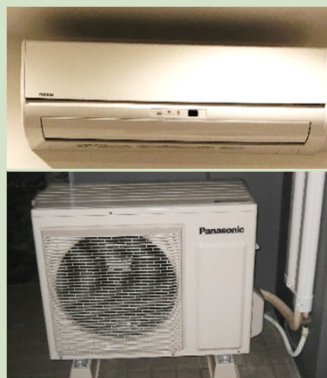
洗濯パン



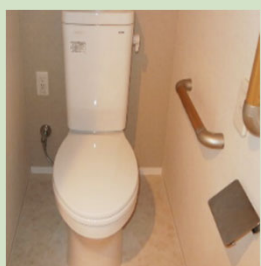
消火栓



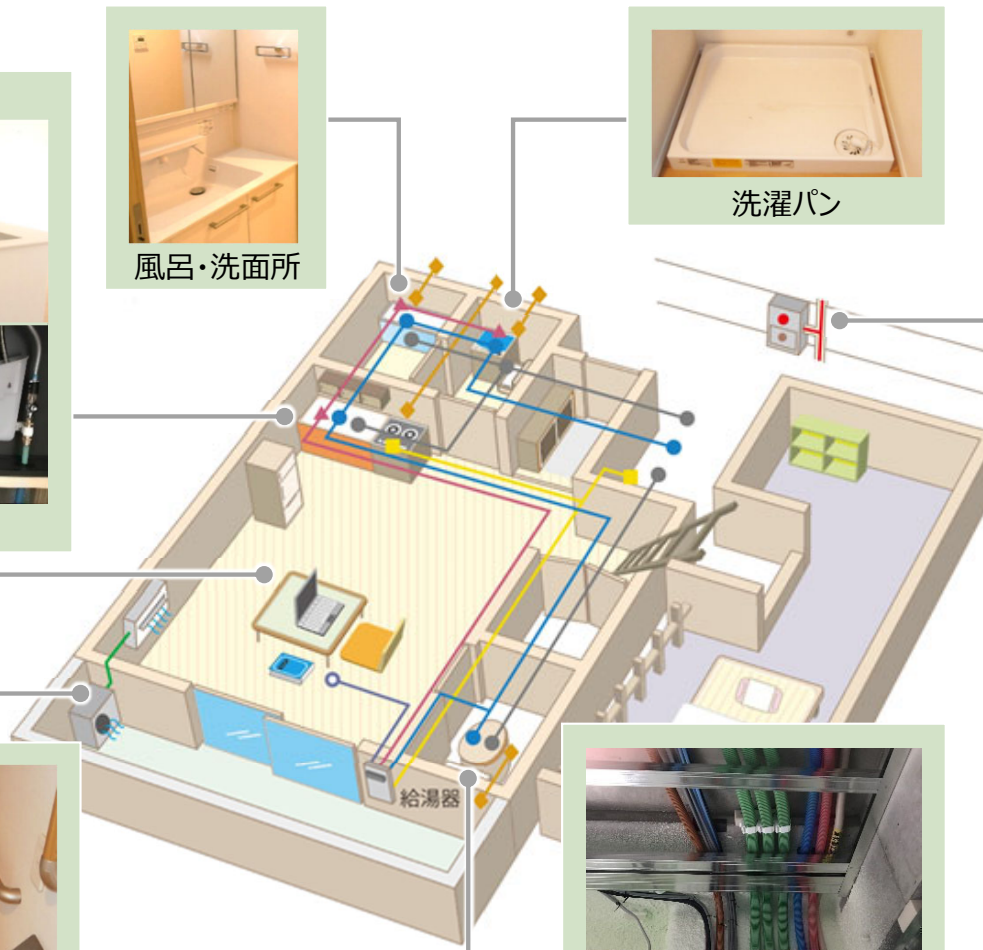
床暖房 (TES)



エアコン・室外機



トイレ



天井裏の配管

### 【その他の設備工事】

- ・厨房設備工事
- ・工場プラント工事
- ・GHP (ガスヒートポンプエアコン) 工事

### 【メンテナンス】

- ・ GHPメンテナンス工事
- ・ 給排水管の耐用年数をアップする工事

給水管  
⇒ NPL-Ⅲ工法  
排水管  
⇒ DREAM工法

樹脂でコーティング▶





# 事業内容 ②ガス設備事業について 1/2

## ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

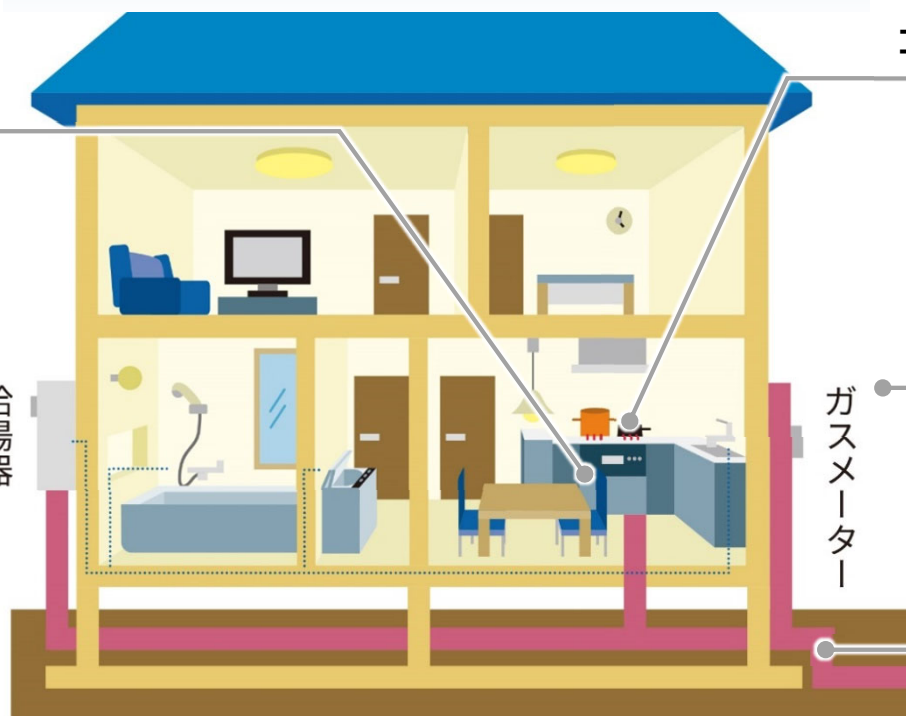
商業施設

### ガス設備工事



### 戸建イメージ

■ ガスの配管



コンロ 点火試験



東京ガス管内年間  
メーター取付数

約35,000個  
(シェア約17%)

# 事業内容 ②ガス設備事業について 2/2

## ガス設備事業

主な施工場所

戸建住宅

集合住宅

学校・福祉施設

商業施設

### 暖房給湯・ 空調設備工事

戸建住宅のTES(TOKYO GAS ECO SYSTEM/ガス給湯暖房)工事。エネファームなどのガス機器設置工事など。



**エネファーム**  
(家庭用燃料電池  
コージェネレーションシステム)



### 床暖房 (TES)



【エネファームのシステムイメージ】

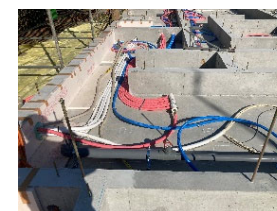


### 乾太くん (ガス衣類乾燥機)



### LCS工事・電気工事

戸建住宅の給排水設備工事および電気工事。



給湯配管



排水配管

### 太陽電池・燃料電池・蓄電池 システム工事

省エネ機器、発電、蓄電およびシステム制御。住宅、小規模施設の発電、蓄電池等のシステム設計。災害時の停電対策に関する設備の提案・設計・施工管理・メンテナンスまで。

# 事業内容 ③ ガス導管事業について

## ガス導管事業

主な施工場所

地中

### ガス導管工事

#### ガス管の漏洩防止と耐震化：

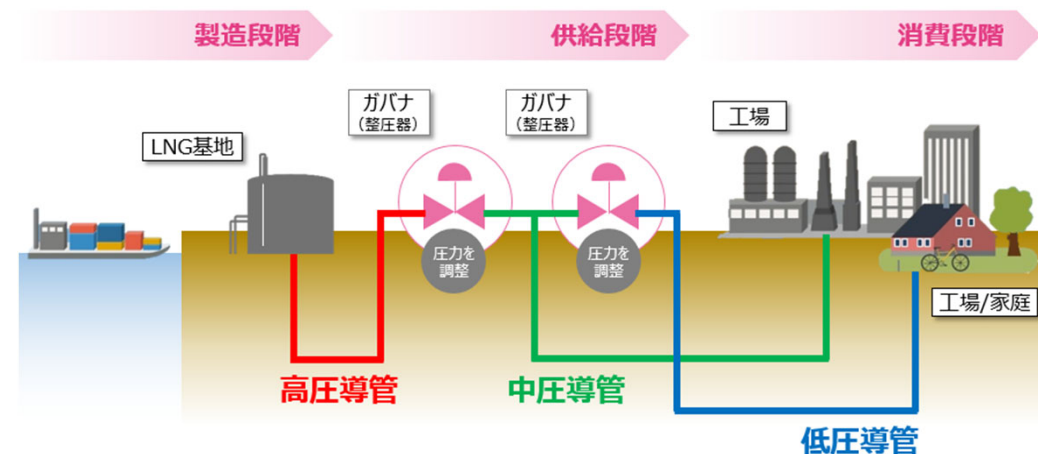
土中の水分で腐食せず、地震に強い柔軟性のあるポリエチレン管に入れ替える工事

ポリエチレン管は  
ひっぱり強く、地震に強い

※ガス導管が届いていないお客様の敷地まで導管を埋設する工事である“**ガス管の延伸**”もおこなう。



### <ガスが届くまで>



### メンテナンス

#### ガス導管修理工事

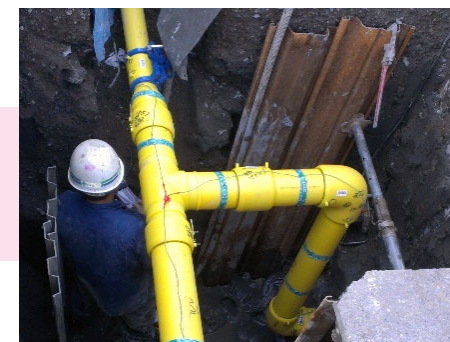
ガスの本管・支管に関わる修理工事

#### ガス漏れ緊急出動

ガスの本管・支管に発生するガス漏れに関わる緊急調査・修理。  
24時間365日、出動に備えて待機しています。



大口径導管溶接工事



導管分岐部工事



# 事業内容 ④ 電設・土木事業について

## 電設・土木事業

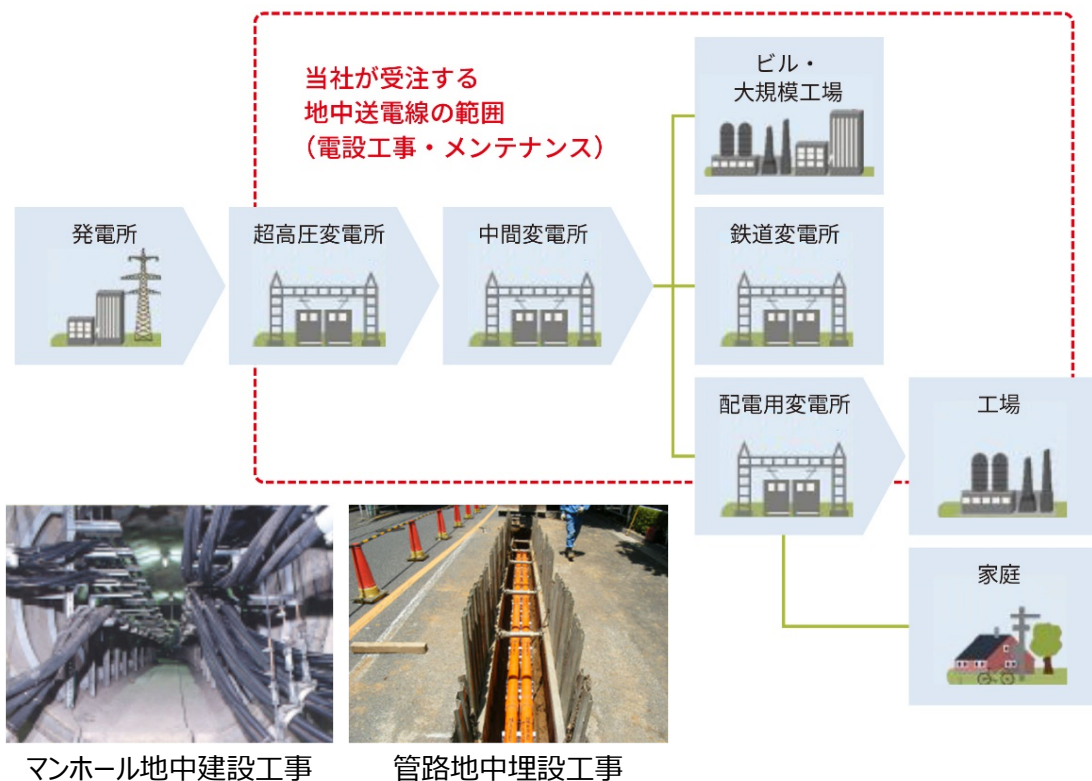
主な施工場所

地中

ゴルフ場

### 電設工事・メンテナンス

地中送電線を通すための管路埋設工事、およびマンホールの地中建設工事、点検・補修工事。



### 一般土木工事

上水道工事、道路舗装工事 など



上水道入替工事



道路舗装工事

### イリゲーション工事

ゴルフ場の散水設備、クラブハウスの設備工事



ゴルフ場コース



スプリンクラー取替工事



クラブハウス浴室シャワー水栓取替工事

# 当社の顧客チャネル



## 従業員の「心と身体の健康づくり」

大切な「人財」が心身ともに健やかに  
生き生きと働ける環境を創る

- 2019年の健康企業宣言ののち、健康優良企業認定制度のSTEP1「銀の認定」を経て、2023年3月30日、STEP2「金の認定」を取得
- 主な取り組み
  - ・健康診断、婦人生活習慣病検診等の受診勧奨
  - ・健康管理システムの導入
  - ・再検査対象者への産業医による声掛け
  - ・オンライン特定保健指導の導入
  - ・メンタルヘルスの体験カウンセリングの実施
  - ・有休取得奨励日の設定

など



本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、この中には潜在的なリスクや不確定要素も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向等により、本資料における業績見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社協和日成 企画室

電話 : 03-6328-5662

メール : [ir@kyowa-nissei.co.jp](mailto:ir@kyowa-nissei.co.jp)

※ 本資料の著作権は当社に帰属します。無断転載、転用を禁止いたします。